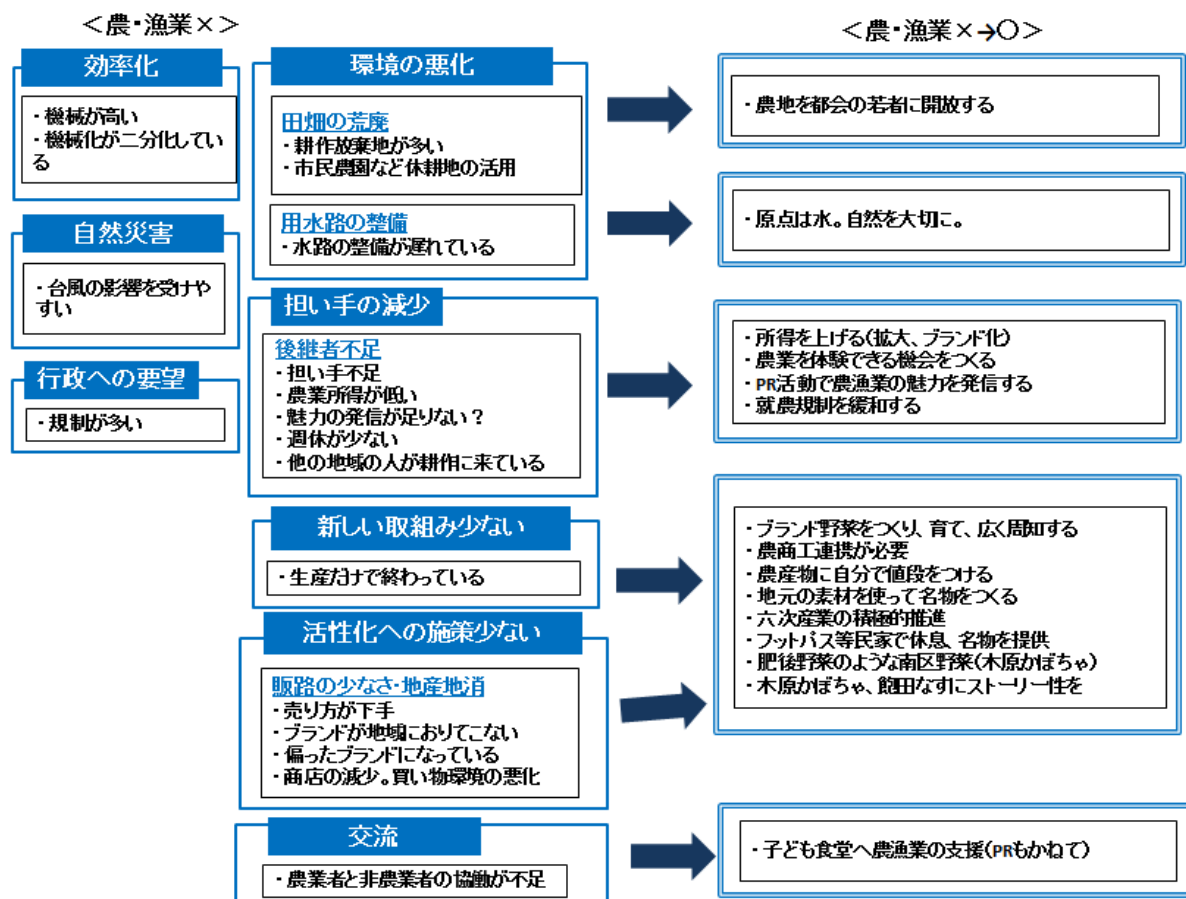
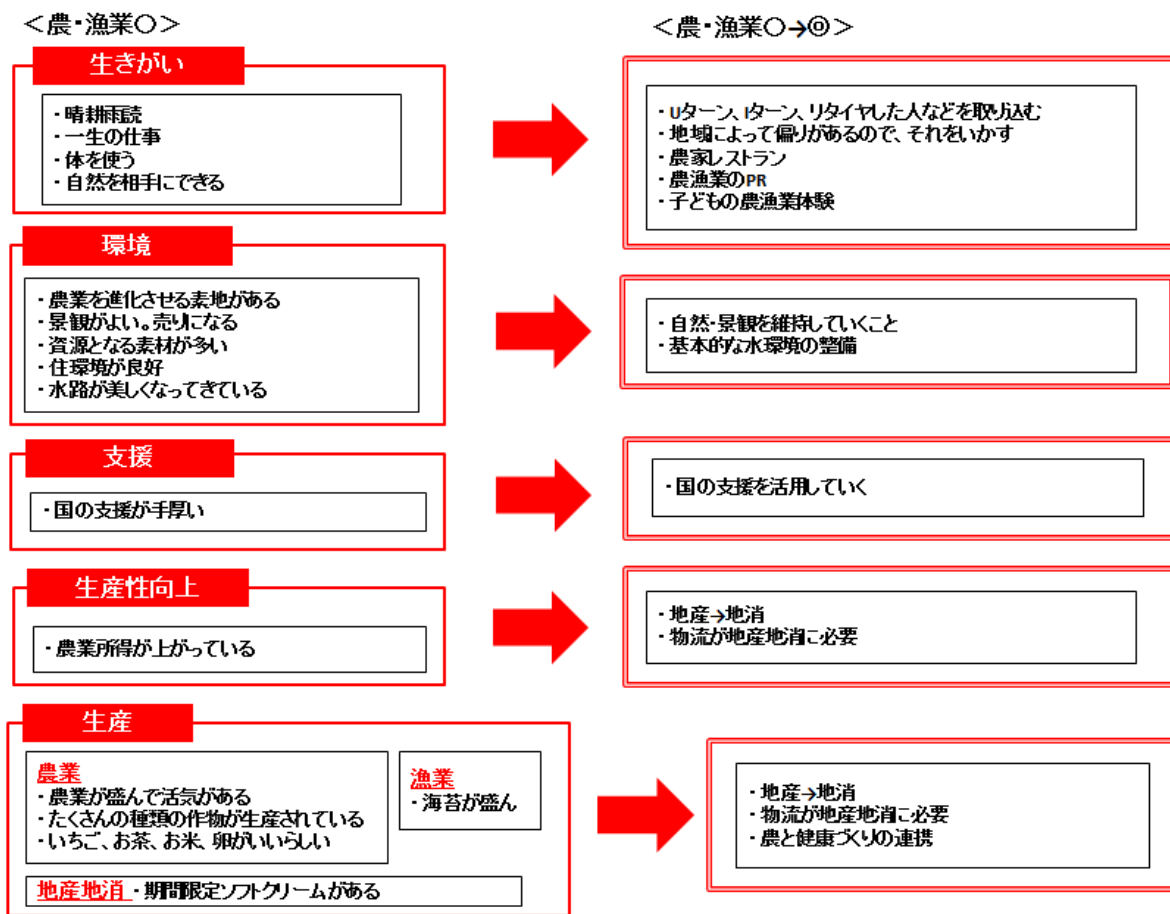


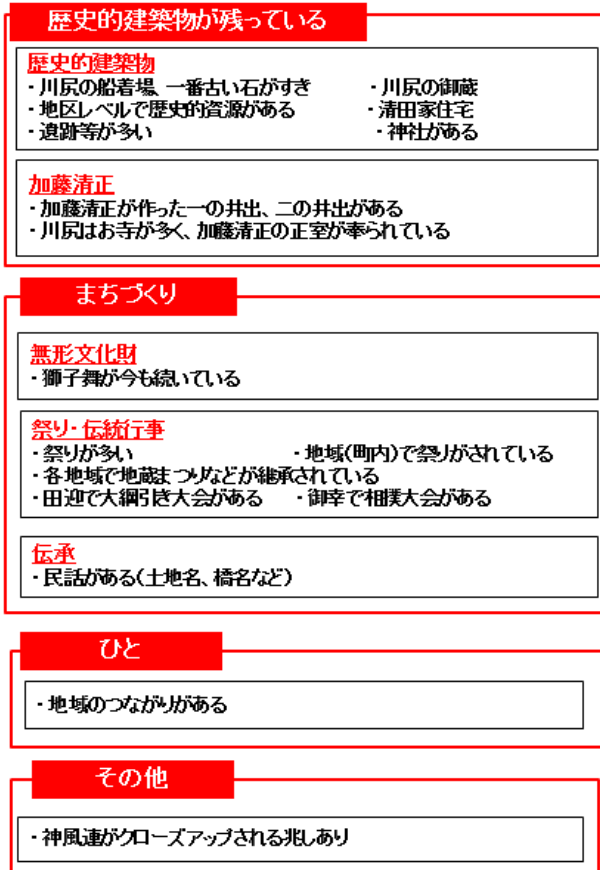
平成 29 年度 南区まちづくりワークショップまとめ (H29.9.26 開催)

(1)「南区の〇と×」

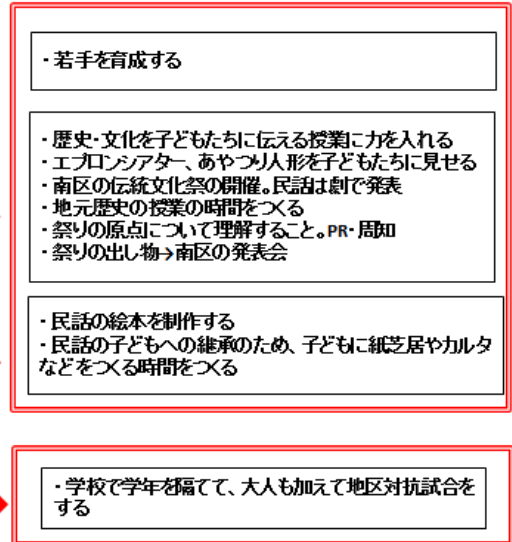
(2)「×を〇にするためには」「〇を◎にするためには」



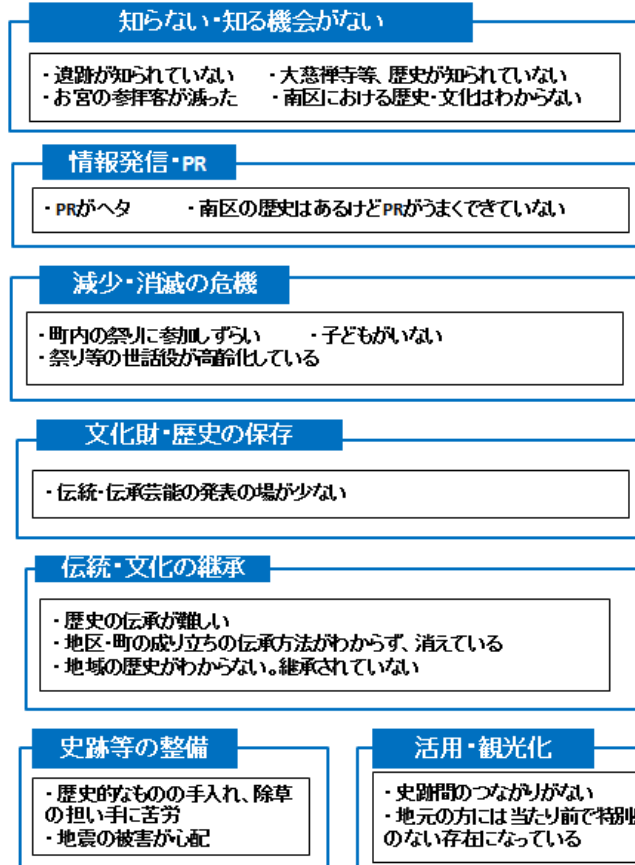
<歴史・文化○>



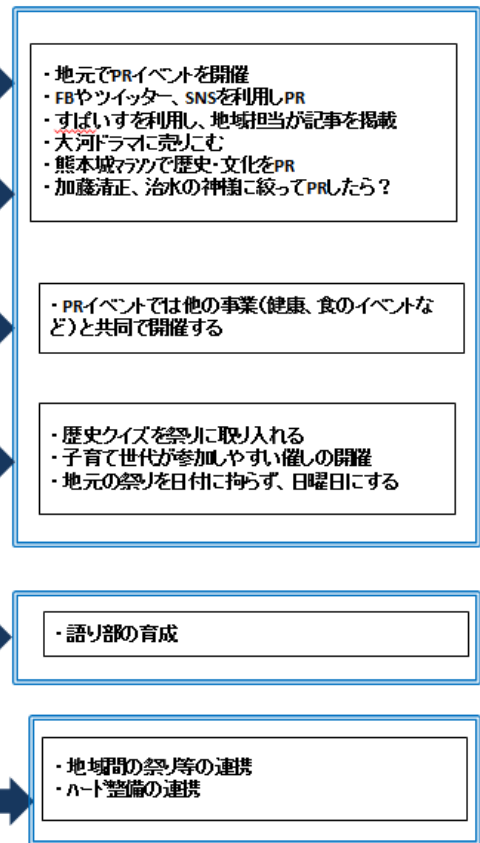
<歴史・文化○→◎>



<歴史・文化×>



<歴史・文化×→○>



<自然O>

自然が豊か

・わき水が出る

名所

・三大不動尊  
・新幹線車両基地

景観

・空が広い  
・ビルが少なく、見渡しがよい

山・海・川

・海からの風がきもちいい  
・山がある。雁回山  
・海がある。アサリ、ノリ、ハマグリ  
・海・山・川と自然が豊か  
・大きな河川がある。緑川・白川

交通

・大きなバイパスがある

地産地消

・トマト、ナス、きゅうりと実りを感じられる  
・田んぼがたくさんある

生態系が豊か

・海の魚と川の魚と両方ある  
・川にたくさん魚がいる  
・緑川でエビ釣りができる  
・水辺の生物が多い

自然とのふれあい

・子どもたちの貝堀り大会  
・ハイキング大会  
・タケノコ堀りができる

<自然O→O>

・アスレチックツリーハウスをつくる  
・ハイキングコースなどをSNSでPR

・特産品を活用  
・観光資源を活用する  
・全国的に宣伝する

・子どもたちの農業体験

・寺子屋をつくる

・河川をいかしたカヌー体験  
・豊田国有林の竹林でタケノコ堀り

<自然X>

環境の整備

・雁回山の入り口が暗くて怖い  
・用水路が多く、キケン

自然を活用した施設の整備・活用

・公園が少ない  
・公園の雑草が残っている

生態系の悪化

・外来魚多い  
・ジャンボタニシがまだいる  
・蜆がいなくなった

自然の減少

・湧き水が少なくなった

情報発信が必要

・メリ穴の蜆知らなかった

自然災害への対応

・川の氾濫が怖い  
・影響を受けやすい  
・山・海・川があり、自然災害を受けやすい  
・雁回山のため池  
・治水。土砂災害が心配  
・風水害。河川怖い  
・液状化の影響

<自然X→O>

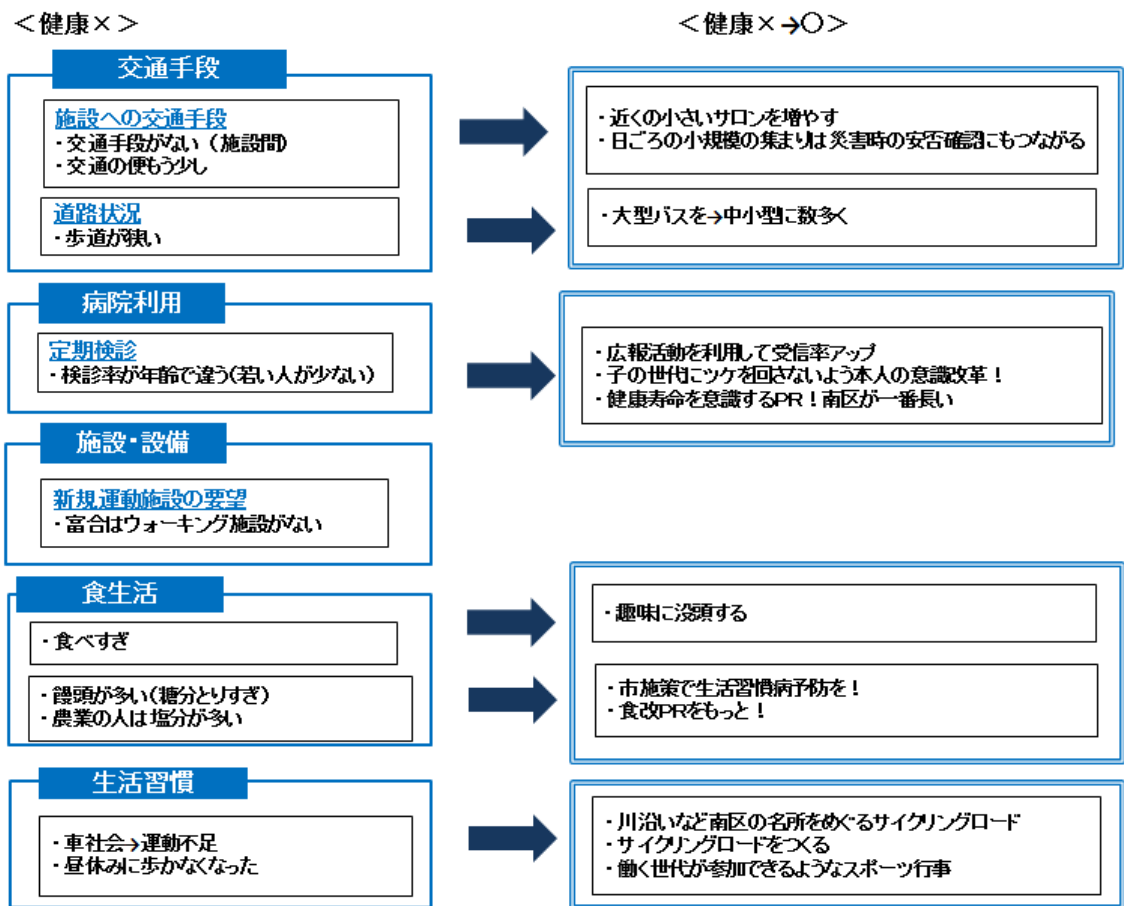
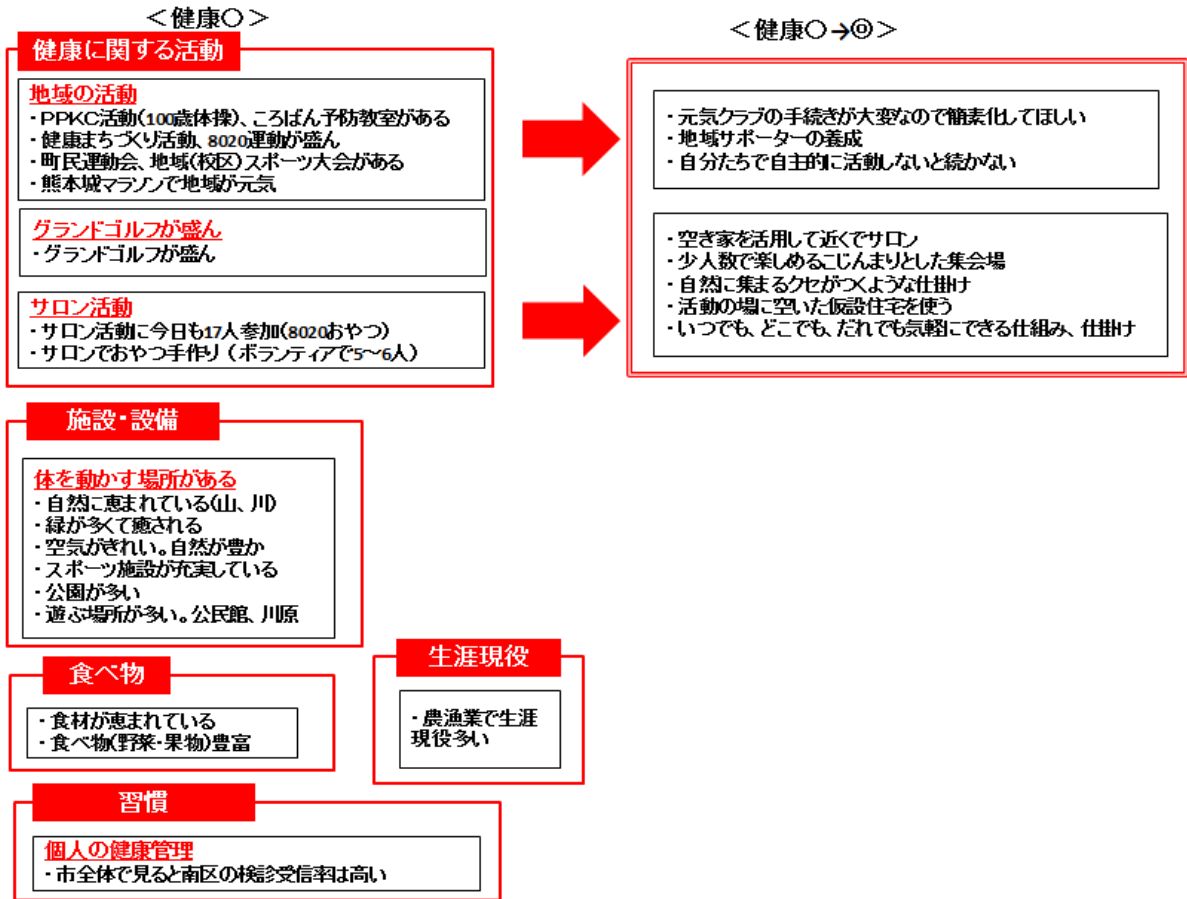
・用水路を改善する

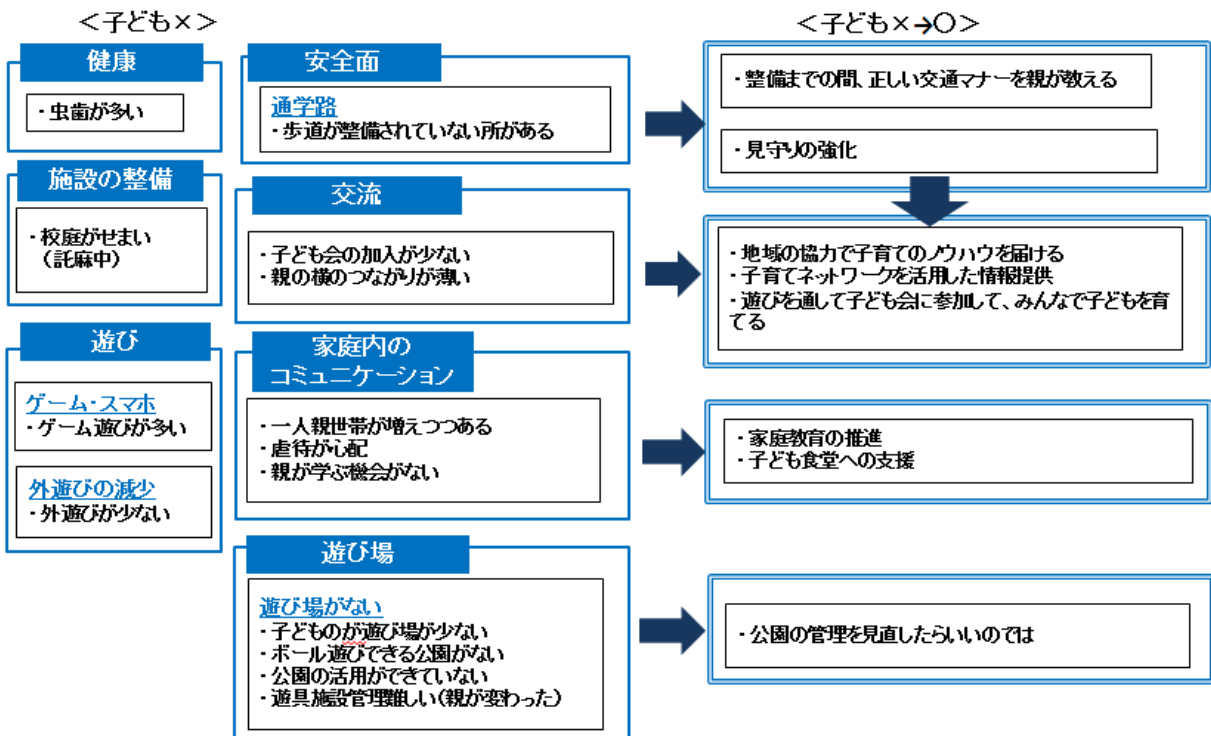
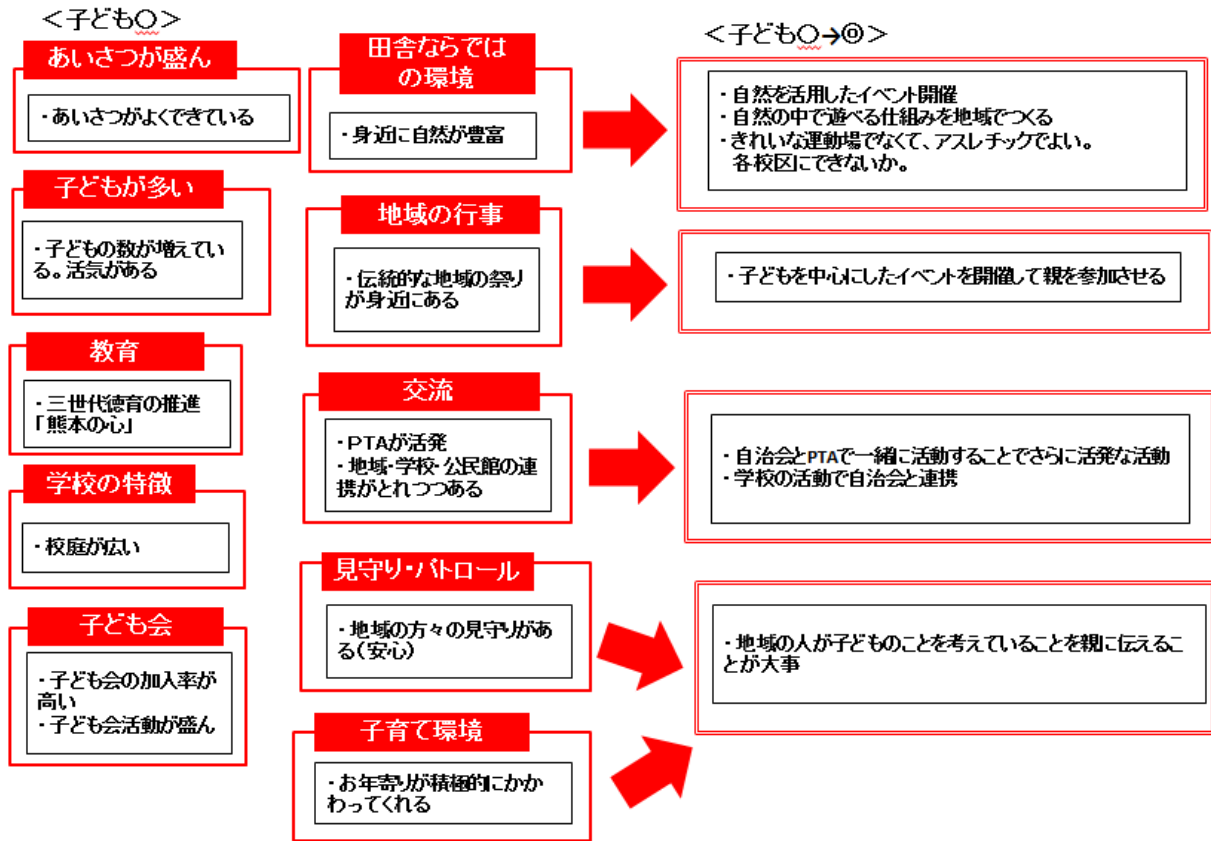
・雁回公園、塚原古墳を整備して利用する！  
・明るく、木陰がある  
・地域との除草活動

・緑川、浜戸川、加勢川をうまく活用してウォーキングコース（目印をつける）

・食用等の活用の推進

・メリ穴の蜆を広報する。蜆祭りとか？





<安全・安心○>

住民の活動

見廻り・パトロール

- ・青パトで月3回見廻しているので、安心
- ・青パトのパトロール
- ・見守り活動
- ・地域の方の見守りがありがたい

防災

- ・防災意識が高まってきた
- ・防災訓練を消防署、消防団、自治会、婦人会連携で行っている

住民性

- ・助け合いの精神がある

仕組み

- ・駐在所との連携

<安全・安心○→◎>

- ・活動者を増やす

- ・消防団との連携
- ・防災の一番の基本は、地域の歴史(災害史)を知ること

防犯

- ・犯罪が少ない
- ・自宅を出発して、仕事して帰るまで身の危険を感じない

- ・地域のつながり、自治会の強化
- ・地域で防犯灯を整備することが大事

<安全・安心×>

災害

核

- ・核への不安

避難所

- ・避難所の設置
- ・沿岸部・高潮・津波の避難所がない

防災

- ・冠水対策
- ・台風、高潮など受ける被害予想不足。不安が先行

<安全・安心×→◎>

- ・小学校の屋上を利用

- ・情報提供の迅速化(防災無線など)

防犯

- ・交番が少ない
- ・人の目が少ない
- ・空き家が増えている
- ・空き巣が増えている

- ・地域住民のつながり強化

- ・犯罪のない、明るく住みよいまちづくり

子ども

- ・子どもの遊ぶところが少ない

交通

- ・道路が狭い
- ・歩道の設置
- ・交通量の多い道路が多く、歩行者、自転車はキケン
- ・通学路の整備
- ・路上駐車

- ・裏道を利用する

- ・地域社会との連携強化、身近な環境整備

環境

ごみ

- ・ゴミ捨てが多い

水路

- ・水路が多い
- ・農繁期は水が多く、キケン
- ・水路にガードレールがない